

6月20日、日産大阪から大阪府へ「新型コロナウイルス感染症、軽症患者搬送車」を寄贈しました！

日産大阪販売株式会社は、今後の新型コロナ再拡大や新たな感染症に対する備えとして、「NV350キャラバン」に特別な架装を施した「新型コロナウイルス感染症、軽症患者搬送車」を、大阪府へ寄贈しました。

今回の取り組みは、日産大阪販売が、大阪府と「安全・安心」「健康・働き方改革」、「環境」、「子ども・福祉」、「地域活性化」、「府政のPR」の6分野にわたる連携と協働を促進する包括連携協定に基づいたものです。

日産大阪販売は、引き続き政府や自治体の要請に基づき、関係者の皆さまと連携し、新型コロナウイルス感染拡大の防止に努めてまいります。

寄贈車両

「NV350キャラバン」をベースに、以下の飛沫感染を抑制する特別な架装を施した車両です。

- ・患者の乗る後部座席とドライバー席のある前列を隔てるパーテーションパネルを設置
- ・後部座席側には換気扇を設置することで、運転席側への空気の流れを防止
- ・後席と運転席をつなぐインターホンを設置し、安全な患者と搬送スタッフのコミュニケーションを実現



白土社長挨拶（抜粋）

大阪府と包括連携協定を結ぶ企業として、日々の業務や、地域貢献活動を通して、「安全で安心して暮らせる大阪の街づくり」を目指す全店舗、全従業員の姿勢に基づいたものです。

まだまだ収束しないコロナの状況や、今後の新たな感染症に対し、貢献できる車両となっております。今回の寄贈が一助となれば幸いです。

我々日産大阪は、大阪府全域に根を張る自動車販売会社として、未来に向かって、更に安全で安心な大阪の街づくりに向けて、我々業界として、やれることすべきことは、まだまだあると考えています。